

平成30年度 神奈川県立足柄高等学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育公務員として厳正に服務規律を遵守し、公務外非行を未然に防止します	教育長通知および教育局各課長通知等の周知、啓発資料等を活用して、教育公務員としての意識喚起に努め、法令遵守意識を向上させた。
わいせつ、セクハラ行為の防止	セクハラやわいせつ行為を未然に防止します	原則として、部活動指導時も含めて生徒との連絡に携帯電話やメール、SNS等を使用することを禁止し、全校集会や文書を通じて生徒、保護者へ周知した。 職員研修会の実施や啓発資料を活用して意識喚起に努め、対生徒及び職員間のセクハラ、わいせつ行為等の未然防止に努めた。
体罰、不適切な指導の防止	適切な生徒指導に努め、体罰を防止します	生徒・保護者との良好なコミュニケーションを図るとともに生徒理解を深め、信頼関係を構築することにより、体罰・不適切指導を防止した。 研修や啓発資料の活用等により人権意識を高め、生徒理解に基づく体罰によらない指導を行った。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	通知表や調査書等、成績処理及び進路関係書類の作成に係る事故を未然に防止します	成績処理及び進路関係書類の作成点検に係るマニュアルに基づき、職員間の相互チェックに組織的に取り組み、チェック時間も充分確保して点検を確実に実施した結果、事故なく業務遂行ができた。また、定期試験実施上の注意も適宜行い注意喚起した。
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の適切な管理や取り扱い及び情報セキュリティの確保を図ります	個人情報等の校外持出しやUSBメモリ等の記録媒体の適正使用と管理の徹底を図った。採点の為の個人情報（定期試験答案等）持ち帰りゼロを達成した。 行政文書等の誤廃棄が発生しないよう、厳正に保存、取扱いを行った。

会計事務等の適正執行	適正な経理処理に努めます	私費会計事務処理の手引きに則った会計処理を行うと共に中間及び本監査だけでなく学期ごとに出納簿のチェックを行った。 会計担当者だけでなく、担当者以外の職員が適正に処理ができるよう、全職員対象の研修会や日常的な正副チェック体制のもと、会計業務の厳正化を推進した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故、酒酔い、酒気帯び運転の未然防止に努めます	法令を遵守し、交通事故防止等に係る啓発資料等の活用により不断の意識喚起を再三にわたって図った。
入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜業務の事故を未然に防止します	実施要項の見直しや採点業務における組織的なチェック体制を再構築しながら、実効性のある点検を行い入学者選抜における事故を防止することができた。 管理職、入選委員長により入学者選抜業務に係る書類、PC、記録媒体等の保管場所を含め一元管理を行った。
不祥事防止を目的とした、管理職による全職員との個別面談の実施	不祥事防止への意識喚起と前向きで風通しの良い職場づくりに取り組みます	必要に応じて個別面談を行い、管理職と職員間のコミュニケーションに努め、より良い信頼関係を構築することにより課題を共有し、その解決を図った。

○ 平成30年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成31年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

平成30年度に取り組むべき課題解決に向け、平成29年度不祥事ゼロプログラムの検証をもとに、新たに不祥事ゼロプログラムを作成し、プログラムを踏まえた計画的な取り組みを行った。各教職員、学年、グループを通じて各項目について必要な取り組みを真摯に行い目標を達成することができた。

「インクルーシブ教育実践推進校（パイロット校）」として、共生社会の実現をめざし、これからの時代に求められる生徒の資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組む学校づくりを推進するためにも、教職員にはより高いモラルと規範意識が求められている。今後も個人情報管理や情報セキュリティ、定期試験や成績処理、遠足や修学旅行、部活動合宿などの事故・不祥事防止について、生徒はもちろん教職員にとってより良い学習環境と学校生活環境の保持増進の為に管理職より注意喚起を行い、不祥事ゼロに向けて取り組む。